

05j. SEのための書く技術、考える技術 (New) ～より良い機能定義書や作業手順書の書き方～

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	出島交流会館(確定)
・講師	富士通九州システムズ(FJQS)講師:井上 龍也 氏
・開催月日	H29年07月05・06・07日(水)・(木)・(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

論理的で分かり易いビジネス文章の作成スキルを高めたい方。

3. カリキュラムの概要

SEとして機能設計書や操作手順書などを記述する局面は多いです。しかし、その文章が相手に伝わり、相手を動かしたり、判断の材料になっていますでしょうか？ビジネス文章は単にビジネスライティングを学んだだけでは記述できません。論理的に考えることが必要なのです。本コースでは、分りやすいビジネス文章を記述するために「相手に伝えたいこと考え、論理的に構造化し、要約してから文書化する」スキルを、講義と演習を通じて習得して頂きます。ビジネス文章の作成では、文章の目的を認識し、論理的に構成を設計し、文章を要約してから執筆することの重要性を学びます。基本的には「ピラミッド・ストラクチャー」の構成を論理的に組み立てる考え方と相手に主旨を明確に伝える表現方法を学習し、文章設計演習、作成演習、添削演習などを通じて学習内容の定着を図ります。単に書式が整っているだけでなく、必要な内容は何か？という本質を考える重要性を理解し、ビジネス文章作成力を高めます。提案書や仕様書、議事録などを書くことが苦手な方にお奨めのコースです。

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
0.アイスブレイク	1.5	【演習】 ・現在の文章作成能力を知る。
1.文章技術の必要性	1.5	・ビジネス文章の特長と役割 ・相手に伝わる！ために必要なこと ・ビジネス文章の目的 ・人や仕事を動かす文章 ・ビジネス文章を作成するためのツールとスキル
2.主題を明確にする パラグラフ構成法	4.0	・分かり易い文章とは ・パラグラフとトピックスセンテンス ・トピックスセンテンスの配置と注意点 ・パラグラフの一貫性(ぶれのなさ) ・代表的なパラグラフのパターン ・SDS法とPREP法(プレゼンの技術を文章に応用する) 【演習】 ・複雑な文章からトピックスセンテンスを抽出し、文章を修正する ・複数の文章から、的確な指示を出すメールを作成する ・代表的なパラグラフのパターンで文章を記述する。

3.論理的な構成のための アウトライン設計	7.0	<ul style="list-style-type: none"> ・文章作成のプロセス(企画→設計→ライティング→レビュー) ・読み手のプロファイリング(相手を知る) ・文章設計のための情報収集と情報分析 ・文章の論理設計(ピラミッド・ストラクチャー) ・主題とその根拠、理由、必要性などで論理的な構成を作成 ・文章の物理設計(文章の形式、順序、見易さ、表現方法など) ・件名や見出し、配置や表現方法(グラフ化など)を行う【演習】 ・文章企画・設計演習 ・文章の構成の設計(チーム内でレビュー実施) ・文章の構成の再設計 ・文章の作成 ・文章の添削(チーム内で検討) ・文章の完成
4.文章作成のための 日本語表現	1.5	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特長(分かりにくい面) ・逆茂木文(結論が最後に来る文章) ・日本語の柔軟性と柔軟性から生まれる曖昧さ ・あいまいさを排除するポイント(短文化、箇条書き) ・主語と述語の距離を近くする。(主語を省略しない。) ・文頭と文末の呼応の不一致。 ・適切な接続詞を使う。 ・日本語3原則。 ・その他、敬語、謙譲語、事項の挨拶、相手を敬う言葉
5.総合演習	5.5	<ul style="list-style-type: none"> 【総合演習】 ・議事録の添削演習 ・文章の添削演習 ・文章の作成演習
計	21.0Hr	

5. 使用教材

相手に伝わる！ビジネス文章の極意～論理的な文章の組み立て方～(富士通ラーニングメディア)
 FJQS作成補助資料(富士通九州システムズ)
 FJQS作成演習(富士通九州システムズ)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. 目的にあったビジネス文章を作成することができる。
2. 文章の構成に関してピラミッド・ストラクチャーで論理的な文章の構成を考えることができる。
3. 相手を動かすことができる主旨、主旨を支える根拠や必要性を漏れなく文章化できる。
4. 論理的に一貫性があり、ぶれのないビジネス文章を作成できる。

7. レベル

ITSS:ITスペシャリスト育成 - [*]テクノロジー【レベル: 2-3】
 ITSS:ITサービスマネジメント育成 - [*]テクノロジー【レベル: 2-3】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名